

第61回 光波センシング技術研究会講演会 論文募集案内

主催 応用物理学会・光波センシング技術研究会
協賛 電子情報通信学会 通信ソサイエティ/エレクトロニクスソサイエティ、電気学会、情報処理学会、精密工学会、映像情報メディア学会、応用物理学会 フォトニクス分科会、日本光学会、計測自動制御学会、日本分光学会、日本オプトメカトロニクス協会、光ファイバセンシング振興協会、日本学術振興会 130 委員会/179 委員会、IEEE Oceanic Engineering Society Japan Chapter/Photonics Society Japan Chapter

応募締切 2018年4月10日(火)【必着】
開催日 2018年6月12日(火)～13日(水)
会場 東京理科大学 神楽坂キャンパス 森戸記念館
〒162-0825 東京都新宿区神楽坂4丁目2-2 (TEL: 03-5225-1033)

趣旨と内容

「光三次元形状計測の新展開」

本研究会は1988年に応用物理学会の研究会として発足し、光波センシングの基礎、応用、実用化を軸に、光技術の発展のため活躍して参りました。第61回研究会では光三次元形状計測技術をテーマに取り上げます。

光による三次元計測は、光学部品や金型の精密形状計測、製品の形状検査、地形の計測など幅広い分野で応用されています。最近では、家庭用ゲーム機や自動車の運転支援など身近な生活でも欠かせないものとなっています。光は精密な物差しで、光の波長のナノメートルから天文分野の光年まで広いレンジの距離計測が可能です。距離計測を二次元で行うと三次元形状が得られません。また、光の直進性から三角測量の原理による三次元形状計測も行われています。現在も三次元計測の高精度、高速化、広レンジ化などの研究開発が進められており、新たな応用も広がってきています。そこで第61回研究会では三次元形状計測技術に焦点を当て、研究開発や応用事例などの多様な招待講演を企画しております。

一般講演論文は、上記のテーマに関係する話題に限らず光技術の広い応用分野から募集いたしますので、奮ってご投稿くださいますようお願い申し上げます。

募集論文の性格： 未発表のものに限ります。ただし口頭発表や研究速報等は差し支えございません。

講演形式・時間： 一般発表講演形式で質疑応答を含めて20分の予定。

応募方法： 論文のアブストラクトを下記の事務局までE-mailにてお送り下さい。
アブストラクトはA4版1頁(PDFおよびMS WORD)以内で、書式は自由です。
演題、発表者、共著者、連絡先(住所、TEL、FAX、E-mail)を明記願います。

応募締切： 2018年4月10日(火)【必着】

論文審査： アブストラクトの内容を本研究会のプログラム委員会で審査します。

論文原稿締切： 2018年5月22日(火)【必着】
A4版6～8頁のPDFおよびMS WORDの原稿をE-mailでお送り下さい。

参加費： 11,000円(登録料5,000円、論文集代6,000円：税込)、ただし予約割引料金です。

研究会事務局： 光波センシング技術研究会(LST)事務局 佐々木 豊
(問合先/送付先) 〒184-0005 東京都小金井市桜町1-10-32
TEL/FAX: 042-381-0446 E-mail: yssk@s.email.ne.jp
URL: <http://annex.jsap.or.jp/kohasensing/>

★第1回～50回の講演論文を収録したDVDを6,000円で頒布しています。上記までご連絡ください。